



## 1年 集団宿泊教室

1年生は5月10～11日の2日間で、水俣・芦北青少年の家での集団宿泊教室に行ってきました。1日目は、まず水俣病資料館に行きました。ここは5年生の時も行きましたが、新たな気づきも多くありました。水俣病の語り手は「南アユ子」さんでした。二度目の話でしたが、自分の生い立ちや今の状況、痛みがとれないこと、薬は毎日手のひら一杯の量飲まねばならないこと、などを話されました。また、「水俣病が一番なりたくない病気だった」という言葉が印象に残りました。

熊本県環境センターでは、講師の淵上さんから、地球の環境を守ることの大切さを、いろんな資料を通して教えていただきました。また、環境を守るためにどんな生活用品がよいのか考える場もありました。商品の商標などに注意して買わねばならないこと学びました。

その後、あしきた青少年の家に行きました。入所式の後、夕食・入浴を済まして「ナイトハイク」をしました。グループを作って行ったのですが、途中先生たちがいて驚かしたりしましたが、楽しい経験になりました。翌日は「カッター船」を漕ぎました。5年の時はペーロンでしたので、初めての経験です。スタッフの方から、カッターの持ち方、漕ぎ方などを教わった後、3漕に別れて海に出ました。みんなで心を合わせて大きく漕いでいるうち、だんだん調子が出てきました。協力することの大切さを学びました。

この2日間、いろんなことを学び、自分なりに成長した貴重な日をおくることができました。



## 3年 チャレンジショップ 5月22日(火)

清田 日和

私はチャレンジショップを通して、人とのコミュニケーションの大切さについて改めて知ることができました。

まず、店に人を呼び寄せるまでに苦労しました。ずっと無言でいるのももちろんお客様はいらっしやることはありません。しかし長文で店の商品のすばらしさについて叫ぶこともできません。店に人を呼び寄せるには、短くはきはきとした声で「店の印象」をアピールすることが大切だと思いました。また、一人だけが大きな声を出してもお客様の耳には届きません。そこで、仲間とコミュニケーションをとりながら皆が大きな声を出してお客様を引き寄せるように頑張りました。

次に、お客様が商品をご覧になっている際にも、コミュニケーションが大切であることが分かりました。「この商品の賞味期限はいつなのか」「どのようにして食べたら美味しいのか」など、お客様からは様々なことを聞かれ、それにきちんと答えられたときは、「事前に調べておいてよかった」という気持ちと同時に、「もう少し分かりやすく伝えることはできなかったかな」と思いました。しかし商品の説明をし、お客様が納得したご様子でお買い上げになられた時は、とても嬉しかったです。

私はこのチャレンジショップに対し、「楽しかった」という気持ちが一番あったものの、正直とても疲れしました。だから、これを毎日することを仕事にしている人は、本当にすごいな、と思いました。

私たち中学生は今、お店に行くとき接客される側の立場にあるので、店員さんをよく観察し、今のうちから将来のために人とのコミュニケーションを養っていきたくと思いました。

福嶋 倅佳

今回のチャレンジショップで印象に残ったことがあります。それは、商品を売るには苦労もあるけど、お客様の笑顔を見たときのうれしさもあることです。開店直後は、お客様が多く、会計の仕事が大変で焦りが出てしまいました。しかし、その後は客足が少なくなり、開店直後のように売れなくなりました。だから、どのようにしたら売れるのかを考えました。まずは自分たちがその良さを知らなければなりません。実際に商品を売る側になって、その商品の魅力をしっかり伝えるのは難しいと感じました。販売の仕事は苦労だけではありません。間近でお客様の笑顔が見られるという嬉しさを感じられるのです。この笑顔を見ると、頑張ろうという気持ちにつながります。

今回は、多くの笑顔が見られたのでこれからも地域の人に喜ばれるようにしていきたいです。



▲たくさんのお客さんでにぎわいました。

## 2年 修学旅行

2年生は5月16～18日の3日間で、沖縄へ修学旅行に行ってきました。

1日目は、平和記念資料館・平和の礎・ひめゆりの塔に行く平和学習で、沖縄戦のことを学びました。2日目は午前中に海洋博公園・美ら海水族館で、海の生き物を見学しました。午後から北中城村で民泊を体験し、体験内容は民泊先で違いますが、それぞれの民泊先で有意義な体験学習ができました。3日目は守礼門・首里城公園を見学し琉球の歴史を学び、その後国際通りで各班で昼食、お土産を買って帰路に就きました。

3日間、生徒たちは様々なことを学び、規律を守った生活を心がけました。今後の2年生の活躍が楽しみです。

